

清水 晃  
議員

## 第三者評価体制は

庁内の評価体制強化に取り組んでいる

問 平成20年度施政方針に  
基づく施策について  
① 平成15年12月に作成し  
た「あきる野市行政評価マ  
スタープラン」について伺  
う。

ア・投資した予算は。  
イ・評価結果の公表は。  
ウ・第三者評価体制の取  
り組みの現状と今後の方  
針は。

エ・平成20年度施策優先  
度評価中「土地開発公社」  
を財政健全化の最優先課  
題としてとらえているか。  
② 防災・安心地域委員会  
の設置理由は。

③ 阿伎留病院組合負担金  
の増は。  
④ 健康づくり施策中「基  
金の創設」は。

企画財政部長

① ア・イ・ウ エ一括答弁  
約3974万7千円を投  
じ、事務事業の改革・改善  
の手法等、庁内を中心とし  
て取り組んできた経緯から、  
評価結果の公表には至って  
ない。また、第三者評価体  
制は、市民参画体制を構築  
するものであるが、現状で

は庁内の評価体制強化に取  
り組んでいる段階である。  
さらに、「土地開発公社」  
の経営健全化については、  
引き続き最優先課題とする。  
総務部長

② 旧市町村を単位として  
組織し、災害に強いまちづ  
くりと地域コミュニティの  
活性化を図ることを目的に  
設置する。

企画財政部長

③ 病院事業債償還額の増  
加によるものである。  
福祉部長  
④ 地域における健康づく  
り事業を応援するために基  
金を創設するものである。  
他に、財政指数について  
質問した。



『あきる野市行政評価マスタープラン』

問 食の安全・安心につい  
て  
先頃の冷凍ギョーザヘメ  
タミドホス混入事件などで、  
より一層食の安全・安心が  
求められている。  
市内小中学校の給食の食  
材は、誰が育て、どのよう



給食センターの調理室

に運ばれ、どのように調理  
されているかなどトレーサ  
ビリティが心配である。市  
内で栽培の野菜を給食に使  
用できないかなどの現状を  
問う。

① 給食の食材は、どのよ  
うに確保されているか。  
② 冷凍食品は、どの程度  
使っているのか。また、中  
国製ギョーザ事件での対応  
は。  
③ 新規事業「ふるさと農  
援隊」と市内産の食材確保  
との関係はどう考えるか。

学校教育部長  
① 献立に基づき、登録業  
者から見本品等を提出させ  
て原産地、製造工程及び工  
場所在地等を確認しており  
食材の生産履歴情報は把握  
できている。  
② 冷凍食品は月に3、4  
回使用している。また、中  
国産については報道の翌日  
に使用していないことを確  
認し、翌日に校長会を通  
じて保護者宛てにその旨を  
通知した。  
教育長  
③ 農業者からは、現状で  
は給食への食材提供は困難  
と聞いているが、一方で市  
場としての魅力があると聞  
く。今後、農業者の方が行  
政と一緒に意識改革できる  
日が来ることも期待してい  
る。

中村 雅一  
議員

## 給食の食材確保は

生産履歴情報は把握できている



南雲 チズ子  
議員

# 道徳教育の取り組みは

## 豊かな心の育成を図っている

問 あきる野市の道徳教育について  
市内の小中学校の道徳教育と一言では表現できるものではないが、どのような取り組みを行っているかについて伺う。

指導担当参事  
教育の根本精神からも、道徳教育の充実は学校教育の大きな課題ととらえて、



道徳の授業（前田小学校）

教育活動全体を通して計画的な指導を進めている。  
具体的には、体験活動を生かした指導、魅力的な教材の開発や活用を進めている。また、道徳授業公開講座を実施し、豊かな心の育成を図っている。  
東京都も含めて力を入れ始めたのが十年ぐらい前からで、今後も道徳教育の充実につながる施策を積極的に展開していく。

問 市民と協働のまちづくりについて  
当市では、多様な地域や生活の課題を解決するために住民主体のまちづくりを推進することが求められている。各種団体、NPOなどの調整役として地域コーディネーターを選任し、地域協議会を立ち上げ、ゆるやかなネットワークで結ばれた地域社会の構築が実現できるのではないかと、地域づくりへの財政支援として、地域の魅力アップに貢献する事業には助成して

いくことも検討できないか。市長の見解を伺う。  
市長  
市の方針で述べた「地域力」の中核である「防災・安心地域委員会」を旧町村単位の七地区において立ち上げていく考えである。  
まず、災害に強いまちづくりと、地域コミュニケーションの活性化を図るためのものであり、さらに、これらが発展できるように、市民団体、企業及び事業者など、さまざまな活動主体と連携

し、地域全体で支え合い、助け合いのできる福祉や、防犯、子どもたちへの教育など、地域社会のネットワーク化を図り、地域協働の活動の中で創造的な地域自治の確立を目指していきたい。また、助成についても行う考えである。  
他に、観光地としてPRするため、フィルムコミッションの推進について質問した。



市内一斉清掃



畠中 克賢  
議員

### ネットワークで結ばれた地域社会の構築を 創造的な地域自治の確立を目指す

村木 英幸  
議員  
理数大好き地域モデル事業の成果は  
物事を論理的に捉え表現できるようになった

問 理数好き地域モデル事業について

市では、平成17年度から3年間、「科学技術振興機構」の地域指定を受け、理科・算数・数学への興味、関心を高め、「理数好き」な子供達の育成を目指して研究を進めてきた。そこで、以下伺う。

- ① 事業に取り組んだ経緯と地域指定を受けた経緯は、どうであったのか。
- ② 理数好きスクール8校は、どのように決まったのか。
- ③ 事業を3年間実施して、その成果をどのように捉えているのか。

指導担当参事

① 調査の結果、理科・算数・数学の基礎的・基本的な内容の定着が十分でない状況が判明した。このため、学習への興味・関心を高め、ものの見方・考え方を身に付けさせるために取り組みを行った。また、豊かな自然環境と科学技術の最先端

企業もあり、地域の教育資源を有効に活用した取り組みを展開してきた。

- ② 校長会等で本事業の主旨を説明し、希望のあった学校から、計画内容等を検討し8校を決定した。
- ③ 児童・生徒は、物事を論理的に捉え表現すること

ができるようになった。また、研究報告会を開催し、学校関係者、市民への理解・啓発を進めることができた。

他に、民間の進学塾の講師を利用した「連携事業」による学力向上の取り組みについて質問した。



小学校の自然体験学習

地産地消宣言都市の提唱を

研究したいと思う

影山 保  
議員

問 食の安全と農業振興について

- ① 中国産冷凍ギョーザによる中毒事件は、輸入食品の検査体制の弱さに問題がある。毎日7500食つく学校給食は心配ないか。
- ② 農業経営の安定化と市民への新鮮で安全な農作物の供給促進を図り、市民及び農業者の健康で文化的な



五日市ファーマーズセンター

生活の向上に寄与することを目的とした「農業基本条例」の制定はできないか。

- ③ ファーマーズセンターをはじめ「地産地消型」農業の推進、地元産木材の振興、手づくり・ものづくり市の開催など、こうしたあきる野市の特性を活かしたまちづくりを進めるために「地産地消宣言都市」を提唱する。

検討をしていく。市長

- ② 市としては、農業について努力をしている。また、市民も農業者が立派な農作物を供給することを評価している。このことから、条例制定については、即答弁することは難しい。
- ③ 当市には、広大な農地がまだ残っており地産・地消的な能力をこの地域は持っていると思う。市民生活の中で、掛け声をかけて行くことは大切であり、研究したいと思う。

- ① 中国産輸入加工品等の食材は使用しておらず、地元食材利用は今後も研究、

## 新議長挨拶



議長

下田 孝雄

平成20年第1回定例会の冒頭、中嶋昭七前議長から、体調不良の理由により辞職届が提出され、議長選挙が実施されました。

中嶋前議長の一日も早い回復を願うものであります。

この度、議員の皆様方の推挙により、不肖私があきる野市議会議長の要職に就くことになり、身の引き締まる思いとともに、光栄に存じます。もとより、浅学非才であります。公正、公平で民主的な議会運営に努力する決意であります。

自然環境に恵まれたあきる野市でも、少子高齢化が序々に進展しております。また、社会構造の変化、緊縮財政のもとでも、市民ニーズは益々多様化・高度化しております。

市民の代表である議会が、さらに「切磋琢磨」し、「いつまでも住み続けたいまちあきる野」の構築を目指して参ります。

これからも、市民の皆様の更なるご支援とご指導を心からお願い申し上げます。

## 監査委員

町田匡志氏を選任



前任者の下田孝雄氏から監査委員の退職願が提出されたことにより、その後任として、市長から町田匡志氏を選任することについて提案があり、議会として同意しました。

今定例会の初日に、一部事務組合議会議員の選挙及び常任委員会委員の変更を行いました。所属は次のとおりです。

### 一部事務組合議会議員

- 秋川流域斎場組合議会  
中嶋 昭七

### 常任委員会委員

- 総務委員会  
下田 孝雄（旧環境建設委員会）
- 環境建設委員会  
松原 敏雄（旧総務委員会）

# 視察報告

平成20年2月に福祉文教委員会が行政視察を行いましたので、視察内容の要旨をお知らせします。

東京都江東区

福祉文教委員会

# まちづくり に活かします



辰巳小学校

期日 平成20年2月7日  
視察地 江東区立辰巳小学校  
視察事項 学習塾連携事業  
について  
調査概要 学習塾連携事業  
は、学校の授業に学習塾の  
講師を活用することで、児

童・生徒の学力向上、学校の教育力向上に資することを目的としている。この事業では、少人数指導等の指導方法の工夫や改善を実施することにより、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図ることや、放課後長期休業期間の補習等にも活用している。また、事業の実施に当たっては、希望する学校長が、事業実施計画書を作成し、教育委員会に申請する。教育委員会では申請に基づき実施校を決定している。運営主体は小・中学校となり、講師は、各学校が連携している学習塾や全国学習塾協会に紹介してもらい、謝礼金は、1時間2,500円(交通費込)としている。また、事業についての評価は、児童・生徒・保護者などからのアンケート結果を利用している。視察を終えて、江東区での学習塾連携事業という新しい教育の取り組みについて、校長先生は、全体の底上げをすることが目的なので、

点数を発表したり、事業を取り入れている学校と取り入れている学校との比較は行っていないとのことである。実際に、6年生の算数の授業「ゆつくりコース」やそろばん塾の講師が、ボランティアで行なっているそろばんの授業を見学したが、そろばんを使っての引き算のやり方をわりやすく教えていたのが、印象的であった。

他に、静岡県賀茂郡東伊豆町の静和病院で、地域医療への取り組みについて視察した。

## 会派の異動

平成20年4月1日付けで、会派の異動がありました。異動後の各会派の構成は次のとおりです。

印は代表者

### 清風会

市倉 理男 青木 豊

石井 仁 浦野 眞司

田野倉由男 中嶋 昭七

堀江 武史

### 新風会

村木 英幸 奥秋 利郎

畠中 克賢 町田 匡志

(以上、旧・清風会から  
新会派を結成)

### 政和会

御手洗 武 合川 哲夫

澤井 敏和 田中 良一

### 公明党

松原 敏雄 下田 孝雄

田中千代子

日本共産党あきる野市議団

戸沢 弘征 影山 保

山根トミ江

### 民主・無所属クラブ

清水 晃 中村 雅一

南雲チズ子